



2011年2月号  
発行所:野々上事務所  
高槻市氷室町4-1-5  
072-695-1313  
発行人:本田昌子

### 名古屋のトリプル選挙、

### トリプルスコアの意味するものは

2月6日投開票で名古屋の“トリプル選挙”が行われました。愛知県知事選挙、名古屋市長選挙、名古屋市議会の解散を問う三つの投票の結果、知事選挙では大村氏、市長選挙では河村氏、市議会解散の住民投票は解散賛成票が、い

り方でした。高所得者により有利な市民税の一律減税はいかがなものかと思いますが、議会のあり方に対する市民の不満が爆発した結果にはしっかりと向き合わなくてはならないと考えます。

ずれもトリプルスコアとなり、河村市長率いる地域政党「減税日本」が完全勝利を収めた結果となりました。

今、地域政党が注目されつつあります。強大な力を持つ首長の下に集う選挙目当てともとれる地域政党が良いとは思いませんが、既存のピラミッド型組織の国政政党では多様な地域の声を反映しきれなくなっているのは確かです。



野々上 愛 (ののうえあい)

1977年高槻生れ。阿武野幼・小・中・三島高卒、関西外語短大卒、龍谷大学法学部卒、同志社大退。高槻市議2期目(1歳)の子育て奮闘中。

統一自治体選挙に勝つ為の一時的な地域政党ではなく、地域に即した課題をしつ

### オープンオフィス

ご自由にお越しください  
◇日時: 2月19日(土)  
3月19日(土)  
午前10時 ~ 午後2時  
◇場所: 高槻市  
氷室町4-1-5  
ののうえ愛 事務所  
お茶を飲みながら、気楽な一時をお過ごしください

かりと議論し政策に練り上げていく、そんな地域政党が各地に根付いていくスタートの年となるのならこの動きも歓迎です。

報道等では欧米の地方議会にはボランティア議員で仕事を終えた夜に議会が開催されている、といった姿が伝えられています。一方でこれらの国では、地方議会でも政党比例選挙が一般的で、地方の政党に対する政党交付金による政策支援などの体制がしっかりとされていること等はあまり伝わってきません。

選挙制度や政党に対する考え方、市民が政治を支える風土など、日本で一足飛びに真似する事は出来ませんが、まずは地域からしっかりと政策を積み上げていく政治を作り上げていくことは可能です。熟議と対話の民主主義を高

### ののうえ愛 キックオフ 城南町 山下善史

1月30日(日)市民会館207号室にて「ののうえ愛」市議の3期目に向けたキックオフ

の集いが開催されました。当日は寒風の中にもかかわらず、多数の市民が参加され、会場は満員の盛況となりました。



全国最年少女性市長として当選された兵庫県尼崎市長の稲村和美氏をゲストにお迎えし、市政について熱く語り合いました。衆議院議員の辻元清美氏も駆けつけ、力強い激励の挨拶がありました。稲村市長とののうえ市議によるトーク形式で始められ、二人の出会いが学生時代の議員インターンシップにあること、女性議員の少ない現状から立候補し、20代で市議、30代で県議、首長を経験し、様々な団体からのしがらみが

なく、小さな会派で頑張ってきたことや、今、子育てと議員活動の両立に奮闘中であることが語られました。さらに、高槻・尼崎両市の市政の現状が語られ、厳しい財政の中、市民自治の街づくりを

目指して情報を市民に公開し、駅前再開発に伴う大型店舗や駐車場、市バスや、若者に仕事がないと言う雇用問題など多岐にわたり、トークディスプレイが行われました。会場からの質問もあり、議員定数削減や企業の海外移転の問題など出され、論議も大いに盛り上がり閉会となりました。ご参加のみならず、ありがとうございました。

### 【追伸：落し物】

当日会場で、男性ものハンカチと高級小銭入れ(中身含)が残っており、事務所で保管しています。



Black Jack  
氷室町・高1黒桜

高槻市議会議員 ののうえ愛

### 事務所開き



2月6日(日) 日ごろの事務所とは、装いも新たに、多くの方々に参加頂き、ゲストに小沢福子大阪府議会議員を迎え、橋下知事の大阪都構想に鋭く切り込む

お話を聞かせて頂きました。美衆議院議員も、先週に引き続き応

援に駆けつけて頂き、国・府・市の連携が重要である事など訴えられ、盛大且つ豪華な事務所開きとなりました。

### やっぱり自分はこう思う

日本と言う国はいくつかの悩みをかかえて解決方向を懸命に探し求めているのが現実の姿なのでしょう。しかし残念にも国民合意のもとにその歩む道が確立できていないのも現実です。この間の国民の落胆、あきらめ、怒り、持ちが英雄探しを始めているのでしょうか。大変に危険な現象であります。そのことは過去の歴史が幾多の教訓を残しています。この

国の悩みの一つである少子高齢化について自分の意見を少々述べたいと思います。日本の現状は世界にも例をみないスピードで少子化と高齢化が進んでいます。誰も将来を考えて解決をしなければと考えつつも具体的にはなかなか進まないのが現実です。例えばフランスでは少子化は国家への挑戦と受け止め、その対策に取り組みやつと人口減少に歯止めがかかるといつまで経っても来ませんでした。外国から見て何故日本はそんなにゆっくりしていると言われている。少子化がその国の将来に対してどの様なことをもたらすのかの危機感が欠如しているのでしょうか。確かにこの間、日本に於いても、育児

休業手当とか出産給付金とか今議論を呼んでいる子供手当等が実行されていきますが歯止めになるまでに至っていない。それどころか子供手当については、そのようなお金があるなら保育所を作れとか言う議論がまことしやかに行われている。ムダな道路、空港、ダム、鉄道の建設費用を削ってでも言うならば理解出来るが、又、しまいに猫でも猫でも親が育てていると暴論を述べる有名人まで出て来ている始末であります。或る朝、新聞の読者欄に或るお母さんの記事がありました。「やつとの思いで保育所に入れて働き始めたのに、子供が病気になる仕事を辞めざるを得なくなりました。保育所だけが解決の道ではなかった」と書かれていた。

今日、誰もがそこを問題としなものは何故なのだろうか。じいちゃん、ばあちゃん、の協力を抜きに子供は産めない、育てられないのが日本の現状ではないかと考えます。余りにも誤った議論がどこから来るのか考えてしまおう。もっと少子化、高齢化に対して認識を深めないと大変な状況が現実化することを知らなければならぬと訴えたい。

### 政治とジェンダー

大学教員 イダヒロユキ

連載第三六回

### 『家族と性の実情』



厚生労働省の「男女の生活と意識に関する調査」で、18歳ごろまでに両親や同居者から虐待を受けた経験のある人が、回答者の5%おり、女性だけでみると7%に上った。該当する年代の女性では単純計算で200万人近くが虐待を経験したことになる。虐待

性についても変化が生じている。同調査によると、虐待を受けた経験のある人は36%で、虐待経験のない人(11%)より多かった。リストカットなど自傷行為の経験がある人も、虐待経験者(38%)の方が虐待経験のない人(6%)より多かった。つまり、多くの人が家族内恋愛愛内の暴力の被害を受けて苦しんでいる。ジェンダー平等を批判するパツクラッシュ派の人は現実を見ていない。なんととしても暴力を減らすために、非暴力と男女平等の教育と相談・支援体制の充実を進める必要がある。

同調査によると、性交渉のない既婚者が増加して約4割に達していた。またセックスをすることに関心がなく、または嫌いと回答したのは、男性で17.7%、女性では48.4%もいた。特に16〜19歳男性では36.1%(前回17.5%)、20〜24歳男性では21.5%(同11.8%)と2年ではほぼ倍増していた。性暴力や性差別文化を減らすこと、コミュニケーション能力を伸ばす教育、デートDV防止教育、長時間労働で疲れるような状況をなくすることが必要である。(次号)

国に於いても、育児休業手当とか出産給付金とか今議論を呼んでいる子供手当等が実行されていきますが歯止めになるまでに至っていない。それどころか子供手当については、そのようなお金があるなら保育所を作れとか言う議論がまことしやかに行われている。ムダな道路、空港、ダム、鉄道の建設費用を削ってでも言うならば理解出来るが、又、しまいに猫でも猫でも親が育てていると暴論を述べる有名人まで出て来ている始末であります。或る朝、新聞の読者欄に或るお母さんの記事がありました。「やつとの思いで保育所に入れて働き始めたのに、子供が病気になる仕事を辞めざるを得なくなりました。保育所だけが解決の道ではなかった」と書かれていた。

## 「男のおきんどん」

### 「マグロのアラ(血合い)の南蛮揚げ」

- マグロのアラ(赤黒い血合いの部分)は、一口大に切り、(しょうゆ、酒、みりん、さとう、しょうが汁、ねぎのみじん切り、白ゴマ、焼肉のたれ)に 30分〜1時間漬けておく。
- ボールに玉子とかたくり粉とコーンスターチを入れて、①のマグロを汁ごと入れてよくまぜる。
- 揚げ油をあつくして、おはしで -きれがつ油の中に入れて揚げる。
- 揚げた金属のザルに取って油をきってから、お皿にキッチンペーパーをしいてその上に盛り付ける。  
☆「くじらの南蛮揚げです」とお話を聞いて出す。

かんたんに来るものはかんたんに漬れる! 維新の会

私の活動の経験で最近のことですが1歳6カ月の子供をもつ親が職場復帰をする時に保育園のお迎え時間に間に合わないで保育園のお迎えと親が帰宅する間の時間を誰かにお世話にならないかなければならない。この条件を満たさないと職場復帰が出来ないのである。私は子育てをするのには幾つもの問題があることは承知しているつもりであります。職場の中に子育ての環境条件を整えることを抜きにして成り立たないと思っています。